

9月末日現在の会員数	
団体正会員	42(△2)
個人正会員	31
団体賛助会員	0
個人賛助会員	17(△1)
協力会員	39(+1)
合計	129(△2)

NPO マネジメント講座の開催結果

「空き店舗を活かそう！」

—市民活動の拠点としての可能性を考える—

日時 平成17年9月3日(土) 13:30~16:30
 場所 八王子市民活動支援センター
 参加者数 62名

今回のNPOマネジメント講座は、受講者が予想をはるかに超える62名の方にご参加いただき、日ごろの皆さんの活動拠点確保への関心の高さが伺われました。今回は時間の関係で具体的などころまで詰められませんが、いくつかのグループが東京都住宅供給公社の方に相談されていました。

今回の討論で提案された利用例です。

① 集合住宅のショッピングセンターでの利用例

- 高齢者が集うミニ喫茶
- 配食サービスの厨房
- 子ども達のアフタースクールのたまり場
- 知的障害者の作業所

② 市街地の空き店舗での利用例

- 他団体との交流の場、情報収集・情報発信の場
- 創作の場、音楽や美術の発表の場
- 飲んで語れるサロン、みんなの集まる喫茶店
- 駅に近く交通便利なので総合インフォメーションセンターでの利用

○ 事例から浮かびあがった課題

市民や学生が活動の場を容易に確保できる体制を整えば、八王子の活性化が進むことが確信されました。特に新しい事業への資金的な助成や公共施設の駐車場の利用方法など課題も多く、関係機関の更なる努力が必要です。



この度のセミナーで東京都住宅供給公社より提示された特別優遇措置

- ① 対象者 高齢者等の福祉活動を行っているNPO法人・社会福祉法人
- ② 特別優遇措置の概要
 - i 通常賃料を最大50%減額する。
 - ii 賃料の2年分相当額の範囲内で標準的な内装設備工事を公社の費用負担で実施する。
- ③ 貸与条件
 - i 当初の貸与期間は、3年とするが、仮に賃借人から途中で契約を解除する申し出があった場合、残期間の賃料相当額を違約金として賃借人に請求する。
(詳細については東京都住宅供給公社へお問合せください。)

イベント情報のお知らせ

いちよう塾（八王子学園都市大学 公開講座）

市民活動講座『団塊世代が救世主』
（八王子市民活動協議会提供）

Part 1「市民活動へ、はじめの一步」
10月8日（土） 13:20~14:50
Part 2「あなたも社会企業家に」
11月26日（土） 15:20~16:50

ともに会場は、学園都市センターイベントホールです。
申込不要、直接会場へお出かけください。

市民活動を知ろう、始めようと思っている人はもちろんですが、もう一歩進めようと思っている人も是非ご参加ください。

いちよう祭りの参加団体と実行委員募集

お祭り参加が地域デビューの第一歩、第26回いちよう祭りの準備会が発足、参加団体と実行委員を募集。

いちよう祭りには、多くの市民が参加しますね。
市民活動団体にとっては、活動紹介の重要な機会となります。

本年度も長房市民センターと周辺の遊歩道一帯を担当エリアとします。愛称を「わくわく広場」とします。

遊歩道では、いちよう祭り唯一の市民団体によるフリーマーケットゾーンを本部に提案しました。

わくわく広場を使い、子ども達の思い出に残る企画も実現しましょう。

団体参加申込み締め切り：10月15日

実行委員申込み締め切り：10月末日

申込みは市民活動協議会わくわく広場係（廣川、坂野）まで
電話&FAX：0426-46-1626



環境フォーラム

日時：11月3日（木） 14:00~16:00

場所：あったかホール

「リサイクルプラザまつり会場」

主催：八王子市民活動協議会

テーマ：「リサイクルから地球温暖化防止を考える」

基調講演：本田 亮 氏（1F 多目的ホール）

「面白くて笑えない地球の環境問題」

併設企画：環境まんが展（ホワイエに展示）

炭グッズの展示・即売等、環境団体の活動紹介（2F 情報コーナー）

定員：150名（先着順）

費用：無料



昨年のいちよう祭りわくわく広場風景

市役所職員等事業本部の文化祭に 団体参加しませんか！

日時：11月5日（土）、6日（日）

10:00~16:00

場所：市役所東側の市有地

毎年、市役所敷地内で開催している市役所職員等事業本部の文化祭は、今年度は、市役所東側の市有地を使って、市民団体にも参加呼びかけをして開催することになったそうです。協議会にも参加依頼がきました。

協議会の各団体とも、いちよう祭りや秋のイベントなどを控えて、大忙しの時期と思いますが、パネル展示やイベントなどを通して文化祭に参加したい団体は、10月5日までに電話46-1626までお申し込みください。

なお、団体参加しなくても 当日は、お気軽に遊びにいらしてください。

NPO 法人化を目指して 設立総会と臨時総会が開催されました

7月24日（日）に学園都市センターで市民活動協議会の二つの総会が開催されました。

最初の総会は特定非営利活動法人（いわゆるNPO法人）としての八王子市民活動協議会を設立するための総会でした。八王子市は来年の4月から本格的な指定管理者制度を導入して多くの市の施設を民間へ委託する準備をしています。現在、協議会が受託している八王子市市民活動支援センターの管理運営もその一つです。協議会は、社会的な信用度が高く、独立性が高い法人化を図り、支援センターの受託を行うべく設立総会を開催しました。引き続き臨時総会を開催しましたが、この総会はNPO法人が認可された時点で、現在の任意団体としての協議会を解散するという趣旨でした。

二つの総会を経て、今年末に予定されている認可が下ると協議会はNPO法人として生まれ変わります。これからも一層のご協力をお願い致します。



NPO 法人化へのアンケート結果

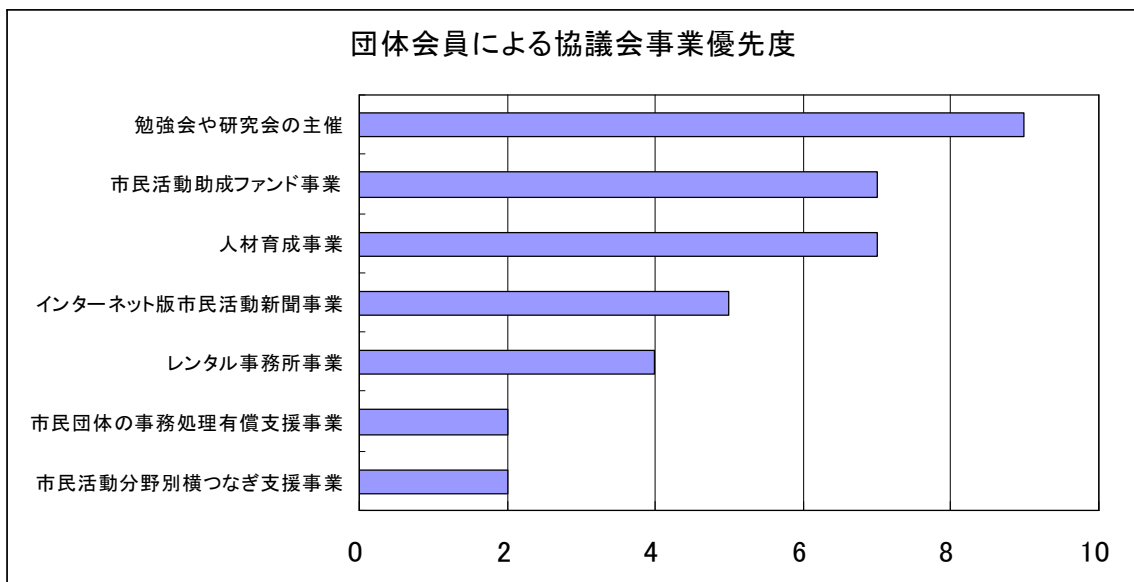
八王子市民活動協議会と支援センターに関するアンケート結果の概要をまとめてみました。

6月から7月にかけて協議会をNPO法人化する是非を中心としたアンケートを実施しました。この結果（概要は下記）も参考にしてNPO法人設立準備が行われました。又、指定管理者制度下でのセンター運営と協議会事業のあり方の検討が進んでいます。

- ① NPO法人化は100%支持されている。しかし半数は消極的賛成であり、デメリットを考慮して進めることが必要。
- ② 協議会事業として勉強会や研究会が強く求められている。その他の事業ニーズも高いが、人材育成以外は団体によりニーズの強弱が強いのでこの点を踏まえることが必要。

- ③ 団体会員における協働ニーズは極めて高い。NPOマネジメント講座の企画に当たっては団体の現実的ニーズに応えることが出来るよう工夫が必要。
- ④ センター運営に関し多くの意見が寄せられた。運営に当たっては多様な価値観をもつ市民と団体を相手にしているという点を再確認することが必要。
- ⑤ 個人会員の約半数は参加動機が満たされていない。会員の交流を活発にし、会員同士の信頼関係づくりが求められていると解釈出来る。

なお回収率は、団体会員41%、個人会員32%、合計回収率35%でした。



会員からのお便り

私が八王子市民活動協議会の存在を知ったのは、八王子市環境学習リーダー養成講座を受講していた平成14年の暮でした。講座受講メンバーがグループ別にテーマを定めて卒論論文を作成する際、私が所属するゴミ問題系グループの打合せ場所として、同協議会の事務所がある市民活動支援センターの会議室の使用を吉永事務局長にお願いしてご了承いただき、それから卒論提出期限の平成15年2月迄に8回程のグループ討議を行い、無事に卒論を纏めて提出し、八王子市環境学習リーダー第1期生として卒業しました。

卒業後加入したエコネットワーク八王子の活動においても、八王子市の環境問題についての論議に同センターを活用させて頂いています。(大島義彦)

市民活動に参加できいろいろな方との出会い、又お話を聞き交流の輪が広がりました

日々、何気なく過ごしてしまいがちですがあたり前のありがたさや、人との出会いの中で学ぶことの多さ、市民活動を通して感じました。

昨夜もアクティブ講座に参加して皆さんが熱心に講師の方の話を聞かれました。直接自分には関わりの無い事に思える内容でも知っておく事も大切な事ではないかと思いました。

八王子から世界に！！少し大きさに思えるかもしれませんが・・・

みんなが協力しあって市民活動の大切さを多くの方に知って頂きたいと心から願いました。(菅野早百合)

ボランティア活動は、東京YMCAやそのサービスクラブである八王子ウィズメンズクラブで10年以上続けています。今年3月末に毎日の勤務に区切りをつけたため地域での奉仕をと考えていたときに八王子市民活動支援センター・市民活動協議会を知り、地域で何か役に立ちたいとの願いから参加することになりました。

地域の活性化とより良き地域社会をつくるため、教育、青少年の育成、子育て支援、心身障害者支援、福祉、環境、外国人支援等種々の課題が協議会の活動項目にあり、出来るだけ協力し、参加したいと思えます。

(久保田貞視)

アクティブ市民塾の企画・運営に参加して

私は協議会の啓発部に属しています。特別の知識とか、技術とかあるわけでもありませんが、ちょっとしたきっかけで、参加することになりました。

いくつかの企画へ参加して感じたことは、人それぞれいろんなことに興味を持っているということです。

私は環境とか、パソコンには関心がありますが、介護とか子育てとかにはほとんど関心がありません。しかし、そのような分野でもその講座でお話を聞いてみると不思議なことにとっても興味を持ちます。

ぜひ、皆さんも関心があるなしではなく、一度くらいはぜひ新しい分野の講座にも足を運んでいただきたいと思えます。きっと、何か新しい発見があることと思えます。アクティブ市民塾でお会いしましょう！

(啓発部 幹事 大福)

お知らせ

介護読本を差し上げます！

『介護は突然やってくる！～悩まないための介護読本』を差し上げます。この本には介護の体験を通して得た知恵やアドバイス、福祉用具の選び方、成人後見制度の活用、介護についてのQ&Aなどが綴られています。

ご希望の方は、協議会事務局にお申し込みください。(郵送をご希望の方は送料210円を添えてください。)

発行 多摩健康生きがいづくりアドバイザー協議会
平成17年1月(A4判 64ページ)
S出版社ノンフィクション部門受賞作品

募集しています

グラフィック・デザイン 刊行物レイアウトの専門家いませんか

市民活動協議会では、チラシやボランティア募集などの各種刊行物のデザインやレイアウト、イラスト等の経験をおもちのボランティアを募集しています。貴重なスキルを「お父さんお帰りなさいパーティー」などで生かしていただければ幸いです。

詳細は協議会、吉永まで。電話：46-1626

(編集後記)

いつの間にか、もう秋ですね！朝夕だいぶ涼しくなってきました、夏の暑さも、うそのような感じがします。前号からA4版4頁に切り替え、会員からのお便りも掲載できるようになりました。この「協議会だより」を通じて、会員同志の交流の輪が更に深まればと願っています。これからもご意見をお寄せください。(杉田)